

令和4年度 栃木県シニアサポーター活動報告 集計結果

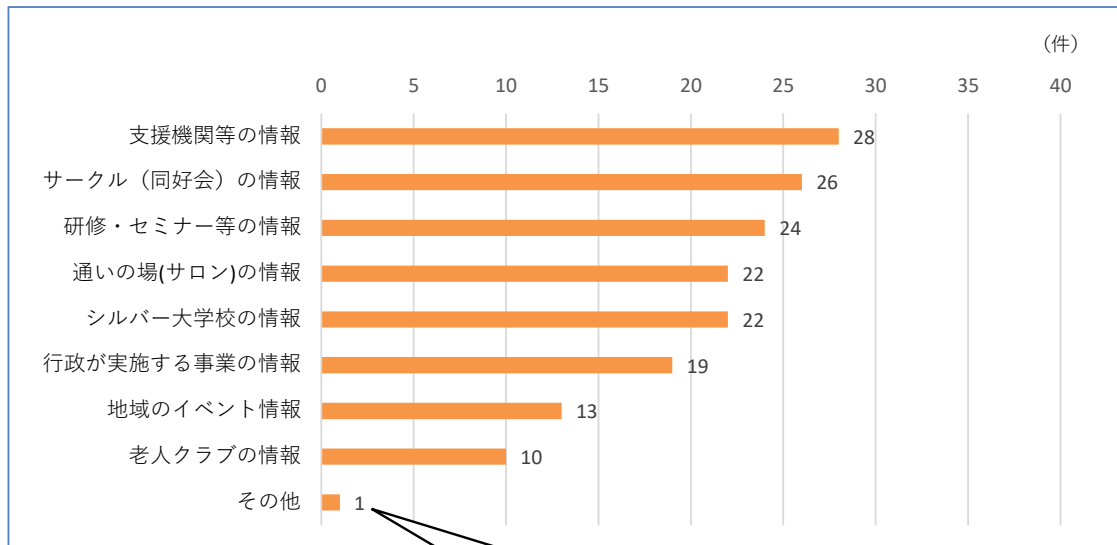
活動期間 : 令和3(2021)年12月1日～令和4(2022)年11月30日

回答数 : 39名/47名

1 シニアの社会参加活動を促進するために取り組んだ活動

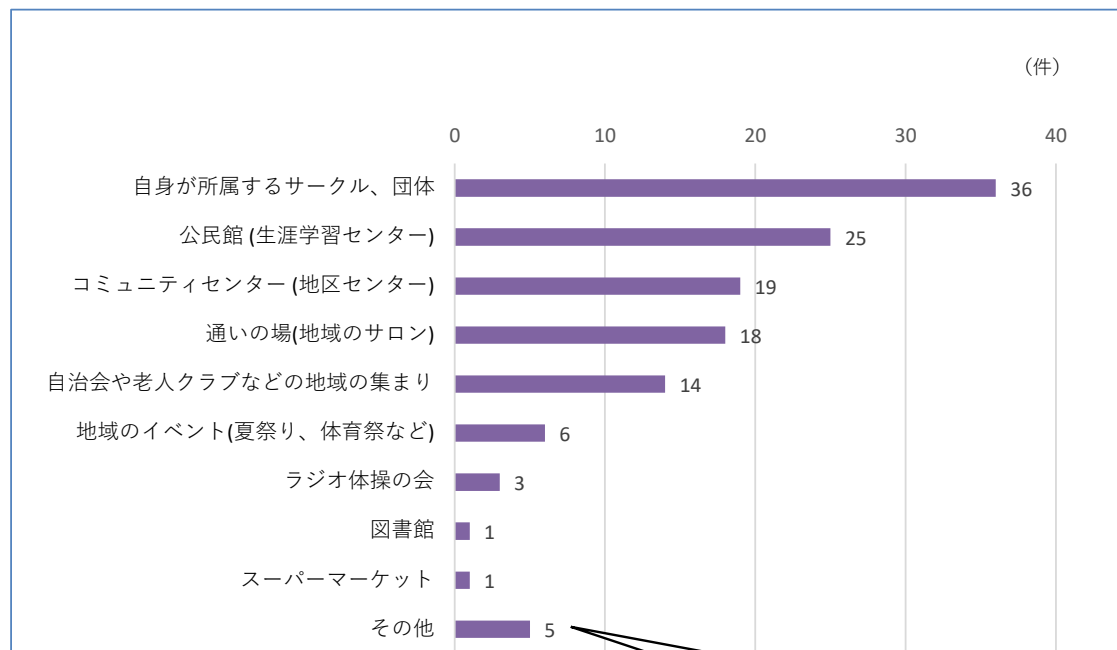
(1) 情報発信(チラシ等の掲示・配布、社会参加の呼びかけなど)

①情報発信を行った内容（複数選択可）



行政へ新規委嘱予定者を推薦

②情報発信を行った場所、機会（複数選択可）



シルバー大スクール同窓会支部、ホームページ・SNS、市工業団地管理協会、小学校 など

○ 情報発信について

(1) ① 情報発信を行った内容

ぶらっとや社会福祉協議会、市民活動センターなどの「支援機関等の情報」と回答した方が28名と最も多く、次いで、地域のサークルや同好会等の参加勧誘、活動紹介など「サークル(同好会)の情報」26名、シニア向けのセミナー、講演会、生涯学習教室など「研修・セミナー等の情報」24名であった。

(1) ② 情報発信を行った場所、機会

「自身が所属するサークル、団体」と回答した方が36名と最も多く、次いで、「公民館(生涯学習センター)」25名、「コミュニティセンター(地区センター)」19名、「通いの場(地域のサロン)」18名であった。

▶別途実施したアンケートにおいて、「情報収集・発信の活動ができていない(ややできていない)」と回答した方は、前年よりやや少なくなったものの約4割でした。コロナ以外の理由として、「シニアサポーターの人員不足」「呼びかけのチャンスが少ない」などの回答がありました。

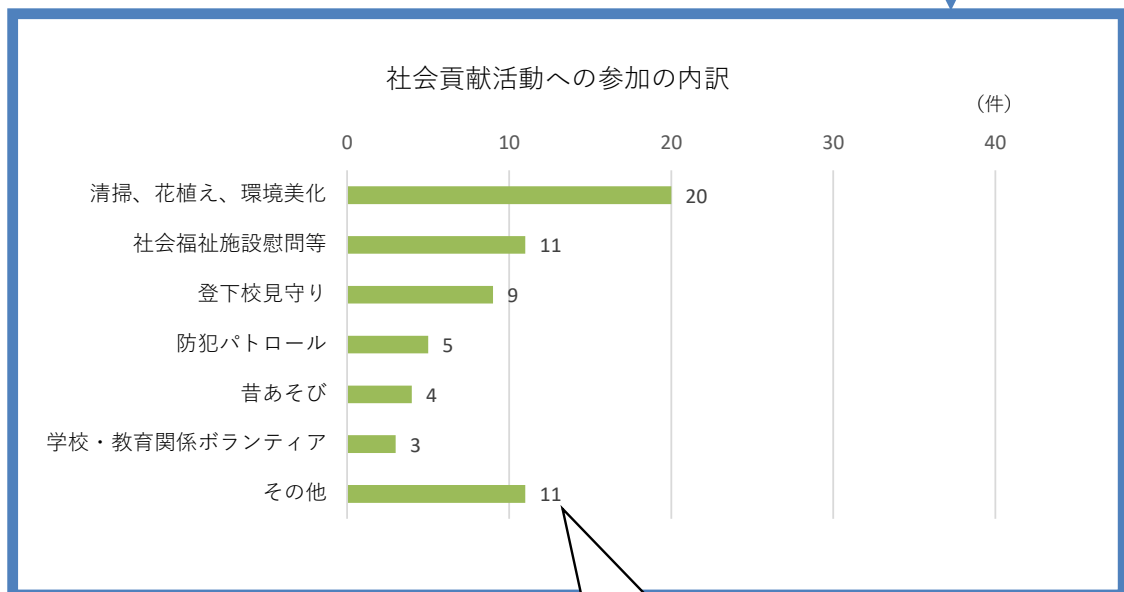
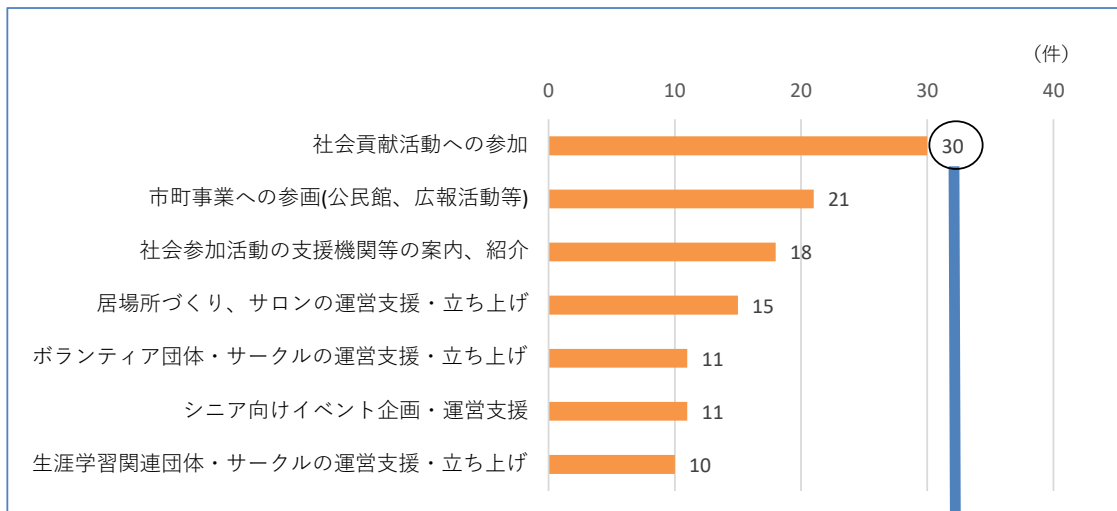
▶「情報の取り方」については、情報発信の回答項目を参考に地域の市町民活動センターや市町社会福祉協議会ボランティアセンターなどの関係機関に足を運んだり、とちぎ県民カレッジなどの各種講座を検索してみてください。

ぶらっとのホームページにも各機関の案内や各市町の取組が掲載されていますので、ぜひご覧ください。

▶情報発信を行う場所・機会として、ホームページ・SNSを活用して活動を行っている方がいることも分かりました。

▶活動に関する周知(情報発信)については、栃木県生涯学習ボランティアセンター(かがやきネット)やとちぎボランティアNPOセンターぼぼら、各市町にある市民活動センター(例:宇都宮市まちづくりセンターまちびあ)等の機関に団体登録するなどして活動を周知する方法もあります。

(2) 社会参加しやすい環境づくりのための取組（複数選択可）



独居高齢者宅の清掃ボランティア、みどり推進機構森作りサポーター、小学校図書ボランティア&学習支援ボランティア、放課後教室ボランティア、シルバー大OBパソコンクラブのアシスタント、見守りボランティア など

社会参加しやすい環境づくりのため、特に力を入れた活動

区分	活動内容
サロン活動 (11)	ふれあい村の運営(ニュースポーツ、折り紙、頭の体操、クイズ等)、創年倶楽部の運営(ラジオ体操、ストレッチ) など
ボランティア (8)	独居高齢者支援(エアコン清掃等)、はつらつ体操、ネーチャーゲーム、見守り、福祉まつり、環境美化、環境パートナー制度への参画・活動 など
学校支援 (3)	学校運営協議会への参加、図書ボランティア&学習支援ボランティア、昔あそび(竹とんぼ製作)
サークル活動 (2)	シルバー大OB会支部活動、介護予防体操・レクリエーション
老人クラブ (2)	シニアクラブの運営、老人クラブ会員増強運動
学び (1)	スマホ・パソコン講座

(2) 社会参加しやすい環境づくりのための取組について

回答のうち、最も多かった項目は、「社会貢献活動への参加」30名、次いで「市町事業への参画(公民館・広報活動等)」21名、「社会参加活動の支援機関等の案内、紹介」18名、「居場所づくり、その他の項目についてはほぼ同程度であった。

「社会貢献活動への参加の内訳」を見ると、「清掃、花植え、環境美化」20名、社会福祉施設慰問等」11名等の回答が多かった。

「特に力を入れた活動」では、「サロン活動」11名、「ボランティア」8名、「学校支援」3名、「サークル活動」及び「老人クラブ」各2名、「学び」1名であった。

▶「社会参加しやすい環境づくりのための取組」について

回答を見ると、複数の活動に取り組んでいる方がいる一方で、活動が行えなかった方も見受けられました。

▶「市町事業への参画」について

「市町事業への参画(公民館、広報活動等)」への回答21名の内訳は、「各種委員として参加」が最も多く、それ以外では、講演会での手伝い、出前講座に企画参加、リーダー研修会への参加、などの回答がありました。

▶「特に力を入れた活動」について

同じ地域のシニアサポーターと一緒に活動したり、シニアサポーターが講師等となって運営している活動もあり、行政やシニアサポーター間で連携した取組が進められています。別途実施したアンケートにおいても、63.1%が「行政機関との連携ができている(ややできています)」との回答がありました。

一方で、個別の意見では、「もっと市町行政機関やシニアサポーター間で意見交換を行いたい」という声が寄せられていることから、さらに取組を進めていく必要があります。

次ページ以降に、活動の中で「苦労した点」「工夫した点」および「講師・指導員の実績」をまとめましたので、活動の参考にしてください。

●【苦勞した点】

- ・参加メンバーの固定化(新規参加者が増えない)、減少傾向。
- ・老人クラブ新規加入者の勧誘。
- ・責任者、運営担当者の確保。
- ・感染防止対策の徹底(消毒、3密回避 など)。
- ・コロナのため歌えない、活動が低調。広報活動の機会の減少。
- ・参加者募集PRの周知。
- ・会場の確保(予約が取りづらい)。
- ・楽しく参加できるための環境づくり。

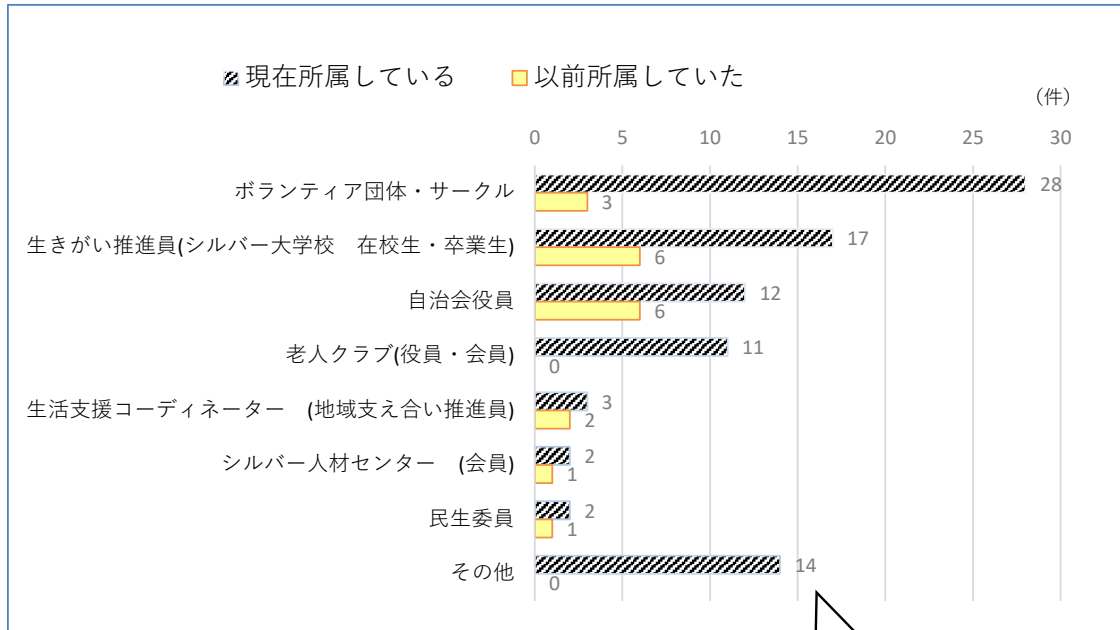
●【工夫した点】

- ・いちご一会障スポ開会式出演のため、プロモーションビデオの作成。
- ・イベント内容の工夫。
- ・参加者の事故防止。
- ・グループラインで連絡網を編成。
- ・参加者の送迎。
- ・企画内容の当番制。
- ・役員の増強(担当スタッフを追加)。
- ・独居高齢者に対して困りごと・悩み事・話し相手等の対応。
- ・地域内大手企業のOB会に事業運営の協力を要請。

(3) 講師・指導員の実績

区分	地区	活動名称	活動内容
スポーツ	宇都宮市	地域デビュー講座	ニュースポーツ
	那須塩原市	生きがいサロン	リズム遊び
	那須烏山市	シャッフルボード	シャッフルボード
	上三川町	ラージボール卓球	ラージボール卓球
健康体操	下野市	元気はつらつ体操	全身運動、パタカラ口腔体操
	上三川町	創年倶楽部	ラジオ体操、ストレッチ
	上三川町	シニアクラブ定例会	健康体操、脳トレ
	宇都宮市	ふまねっと運動教室	ふまねっと運動
ウォーキング	宇都宮市	歩け歩け大会	ウォーキング、ゲーム
IT	宇都宮市	パソコン講座	パソコン操作
	野木町	スマホの楽校・パソコンの楽校	スマホ・パソコン操作
音楽	日光市	楽器演奏	歌とウクレレ
昔あそび	真岡市	市内小中校の野外活動	ものづくりの指導指導
学び	下野市	大人の広場	セミナー
サロン	那須町	地域サロン	健康体操・脳トレ
	下野市	ゲーム	ボッチャ、吹き矢

2 所属団体等の状況



蕎麦打ち会、コミュニティ推進協議会、中央公園緑の相談所友の会、デジタルハブ(栃木県総合政策課)、エコアップリーダー運営委員会、シルバー大OB民謡クラブ、第九合唱団、防犯パトロール隊、認知症サポーター、観光ボランティア、社交ダンスサークル、グラウンドゴルフサークル、グラウンド・ゴルフ協会役員、第二層協議体メンバー、健康推進員、など

2 所属団体等の状況について

回答した方のうち、最も多かったのは「ボランティア団体・サークル」28名、次いで「生きがい推進員（シルバー大の在校生・卒業生）」17名、「自治会役員」12名、「老人クラブ（役員・会員）」11名の順となっている。